

アメリカ発



# 最新歯科医療レポート

Vol.01 リポーター:和田圭祐



和田圭祐=1970年5月9日生まれ。広島大学歯学部卒。名古屋大学医学部大学院で医学博士号を取得。米国ハーバード大学大学院で08年6月、歯学博士号取得。米国歯周病専門医。現在ペンシルベニア大学歯学部でインプラント学ディレクター兼インプラント・骨再生療法の治療や臨床研究を行っている。

私の生家は祖父が66年前に開業した歯科医院です。2代目に当たる現院長の父、勝は28年前に渡米し、まだ始まったばかりだった「インプラント技術」をいち早く早く習得して来るなど、常に最先端の医療技術の治療に取り入れてきました。その進取の志を引き継ぎ、現在、世界といわれる米国歯科医療の現場に身を置く私は、専門である歯周病や審美歯科、インプラントなどの最先端技術を、日本のどこよりも速く地元福山の皆さまにお届けしたいと思いい立ちました。それが私を育てて頂いた地域への、何よりの「恩返し」だと考えたからです。

最近、失われた歯に代わる第三の歯としてインプラント治療が広く認知されて来ています。従来の取り外し式の入れ歯と比較して、違和感がほとんど無く昔のように固いものが食べられる——というまさに画期的な治療法です。しかしそもそも人は何故歯を失い、インプラントが必要になるのでしょうか。ある研究では、歯の喪失の約70%が歯周病によると報

告されています。インプラントと歯周病とは、実は密接な関係があるのです。



## 第一回 歯周病とインプラント

### 歯周病治療あつてのインプラント治療

日本と違い、米国では歯周病専門医が中心になってインプラント治療をしています。これは「インプラントを長期的に成功させるには、万全な歯周病治療が必要」という研究データに基づいています。ですから私が携わっている米国のインプラント教育は、まず残っている歯の歯周病を完全に治療し、その後インプラント治療する

ように徹底されています。さらに最近の研究では、歯周病であった人にインプラントをした場合、歯周病でない人に比べ長期的成功率が低いというデータもあります。歯周病に対するケアがインプラントの運命を左右すると言えるでしょう。

「歯周病は老化現象だから治らない」という迷信も聞きますが、それは間違いです。ほとんどの方は歯周病治療により、健康な口の状態を取り戻し、インプラントで豊かな食生活を楽しむことが出来るのです。そのためには、完全に歯周病を治すこと、定期的検診を受ける必要があります。

食べることは、人生の中で大きな喜びの一つだと思います。一生涯美味しく食べる為の歯科治療のヒントを、これからの連載で少しずつ紹介させて頂きたいと思えます。

3カ月に1度2週間程度帰国して、同院で治療いたします。

WADA DENTAL OFFICE



## 新市・和田歯科医院

— M&K インプラントオフィス福山 —

院長・和田 勝 歯周病専門医・和田 圭祐  
福山市新市町新市726-1

Tel. 0847-52-6480 (ムシバゼロ)

詳しくは当院のインプラント専用サイトをご覧ください <http://www.wada-implant.net/>